

Ouhokai - Kaihou

桜圃会 会報

編集発行：山口県立大学同窓会桜圃会

《事務局》〒753-8502 山口市桜島3-2-1
TEL&FAX083(925)7485 振替口座01570-2-25095
メールアドレス ouhokai@yamaguchi-pu.ac.jp
印刷：(株)マルニ

Vol. 70
令和4年3月1日発行



萩焼陶板壁画『昇陽』除幕式 2021年(令和3年)7月16日
山口県立大学特別荣誉教授・萩焼作家 大和保男氏 (於) 桜圃会館ロビー

さやかな風を……
桜圃会の皆様へ



会長 福田百合子

昭和十六年十二月八日はハワイ真珠湾攻撃の日です。太平洋戦争の始まりでした。

その年の春に私は山口高女に入学。この学校に併設の同窓会館要会館内に県立大学の前身、山口女子専門学校が創設されたのです。

以来、生徒・学生・助手・教師・同窓会と実に長いご縁をいただきました。感無量です。

山口市湯田出身の中原中也は第一詩集『山羊の歌』の「初期詩篇」の中で次のように歌いました。「帰郷」の終章、三連・四連です。

これが私の故里だ
さやかに風も吹いてゐる

心置なく泣かれよと
年増女の低い声もする

あ、おまへはなにをして来たのだと……

吹き来る風が私に云ふ

中也是このように早い段階から自問自答を繰り返していたのだと気付かされます。

彼が三十年の短い人生を駆け抜けたことを考え合えると私はただ茫然としてしまいます。「何をして来た？」と問うて、その返事は、なかなか戻って来ません。

私の長い生涯の中で敗戦と新型コロナウイルス禍こそは予期せぬ重大事です。そこでこの二つを大切に自ら振り返る時と捉え、生きる糧にと決意しました。

十一月に開催された大学創立八十周年公開講座の主題は「大学を哲学する」で、結論は「考え、学び、生き切る」でした。若い卒業生との討論は驚くほどに聡明で新鮮でした。

その喜びを、さやかに吹き来る風と共に届け致します。皆様もどうぞお元気で。再びお目にかかれ語り合える日を!!

(昭和23年国語卒)

新図書館 グランドオープンから一年 ―資料・情報との多彩な出会いの場の創出―

図書館長 安光裕子

昨年の四月二日に新図書館がグランドオープンして、早二年近くが経ちました。

新図書館の特徴は、開放的なスペースにゆったりとした閲覧席の配置、学生二人ひとりの主体的な学びを支援する場であるラーニングコモンズ、グループで発表資料の作成をするためのグループ学習室などを設けていることです。学生が学習・研究をするにあたり、課題を発見し、その課題を解決する力を養うに相応しくかつ居心地のよい空間が用意されています。

また、電子ジャーナルやデータベース、電子書籍の導入により、学習や教育研究に必要な資料・情報を



新図書館グランドオープン 集合写真 (2021.4.1)

容易に入手することができ、場として整備されています。

今年度は特に展示に力を入れています。桜園寺内文庫所蔵資料の定例展示に加えて、例えば、学長、副学長、各学部長など十六名によるコメント付きおすすめ本の展示を行いました。学生からは「普段読むことのない本を手取るきっかけとなった」などの声があり、実際おすすめる本が何人もの学生に借り出されていることから、この展示が本（著者）との思ひぬれ合いの場となったといえます。

もう一つの新しい試みは、同じ大学にいながあまりよく知らない他学科等の活動内容を知る場となるべく、学科等の展示を月替わりで開催したことです。

さらに、図書館と芸術サークル『結Yuii』とのコラボ企画「ワークショップ」を開催しました。これは、郷土文学資料センタ―所蔵資料展示の二環として開催したもので、本学が所蔵する貴重な資料を知るきっかけを創出することを目的とするものです。

学生はというと、図書館資料を使い、パソコンを駆使しながら、まさしくハイブリッドな学習をしています。また、図書館サービスを受けるだけでなく、二〇一九年に立ち上げた学生協働*YPU LECに参加して、図書館職員と二階に、学生自らが企画立案した事業を実施して、図書館を積極的に盛り上げてくれています。

山口県立大学生生活協同組合 (県大生協)の設立について

山口県立大学生生活協同組合 理事長 人見英里



本学は二〇二二年五月に創立八十周年を迎えました。本学の福利厚生は、売店、書店、食堂の各事業者の皆様をはじめ多くの皆様が、県大を我が大学と思ひ、学生を我が子と思うあた

図書館は人類の知の宝庫、いたるところに、お宝とお宝を探索するルートが隠されています。

卒業生のみならず、まも、お宝を探しにお越しください。(昭和54年国文卒)

*YPU LECは、Yamaguchi Prefectural University Library Excitement Corps.の略。(山口県立大学図書館盛り上げ隊)

たかい思いやりの心で育んでくださることで為されて参りました。

そのような中で時代は進み、二〇二〇年九月には新キャンパス構想の二環として全ての学部が北キャンパスに移転することができました。現在は二〇二二年四月のオープンに向けて食堂と売店の入る厚生棟の建設工事が進められています。

そこで、二〇二二年度からの学生・教職員の福利厚生事業(食堂事業、売店事業及び厚生事業)を担う組織として、大学生生活協同組合を立ち上げることを計画し準備をすすめて参りました。在学生及び教職員

に募った生協設立賛同署名は、一〇五三筆に達し、大学全構成員の七三%から設立への賛同を得ることができました。これを受けて二〇二二年十一月には創立総会が開催され、「山口県立大学生生活協同組合」(略称・県大生協)が発足致しました。今後、本学の学生・教職員・生協職員から構成される理事会によって生協は運営されて参ります。

大学生協は大学の福利厚生事業の担い手として食堂などのサービスを提供していくだけでなく、大学での教育・研究のためにも欠かせない存在となります。私たちも「生協があつて良かった」と言われるような、学生・教職員に寄り添える「県大ならではの生協」を目指していきたいと考えています。

今般、桜園会の皆様から食堂で使うトレーをご寄付いただけるとのこと、この場を借りて御礼を申し上げます。会員の皆様も来学の際には是非、新厚生棟にお立ち寄りください。(看護栄養学部栄養学科教授)



トレーに印刷するロゴ



桜園会第四十二回公開講座
山口県立大学全学客員教授特別講義
山口県立大学創立八十周年記念

山口県立大学を哲学する

「学ぶ」をいかに「生きる」に繋げるか

さる令和三年十一月十二日、北キャンパス二号館にて第四十二回桜園会公開講座がコロナ禍の中、会員限定、リモート聴講も可という形で開催された。

大学創立八十周年を記念して改めて山口県立大学を考えようと、公共哲学が専門で哲学実践の場「哲学カフェ」を主宰され

ている小川仁志山口大学国際総合科学部教授をコーディネーターにお迎えし、パネリストとして福田百合子桜園会会長、米重敏明氏(社会福祉卒)、林真由氏(国際文化卒)の卒業生三人が登壇した。

まず小川先生が「哲学する」とは、世間の常識や思い込みを改めて吟味し、自分の考えを見直してみることとの説明をされた。それを受け、福田会長が「学ぶことはとても楽しい。生きることは考えること。なぜなら考えることで自分自身を確認できる。」「自然を見て四季を感じる心を大事にする、その心を表現するロゴス(言葉)の意味を考えることが学びであり人生である。」と述べられた。米重氏は「楽しいこと関心のあることをする中で知識や経験を得ており、自然と学んでいることになる。」「こうありたいという未来の自分の姿

を考え、事の本質を追求していくことがいい人生に結びつくと思う。」と。また林氏は「学ぶことは知識知見を取り入れ、自分の中で選択肢を増やすこと。大学での学びは、社会での実践、活用の土台になっている。」「現在の多様な世の中でより良い人生を送ろうと考えることが大切であり、それが人生の第一歩だと思う。」と応じた。

対話ののち、これからの山口県立大学について、福田会長は「温故知新の思いを大切にし、自らが考え行動し表現できる人が育つ場であってほしい。」と思いを述べられ、最後に小川先生が「山口県立大学の本質は『県大は健在』』との一言で山口県立大学の営みを表現し、締め括られた。

(昭和60年児童文化卒 大前記)

公開講座 パネリスト紹介



米重敏明

平成十三年三月

山口県立大学社会福祉学部
社会福祉学科卒業

中学生の時、飛び込み事故により、頸椎を損傷、以後、車椅子生活となる。

大学卒業後、医師会病院に四年間勤務、二十七歳で独立し、株式会社ティエラを設立する。

現在は、別会社も含め、福祉や環境、コンサルティング事業などの事業を展開し、幅広く活躍している。



林 真由

平成三十一年三月

山口県立大学国際文化学部
国際文化学科卒業

在学中は、国内・国外フィールドワークに参加、文化交流や文化変容について学び、異文化コミュニケーション力を身につけた。

卒業後は、ベネッセグループ株式会社社進研アドに入社、高等教育機関における広報支援や、高大接続領域に関する教育・学習支援を中心に、九州エリアの大学等の支援事業に携わっている。

人事異動

■役員

就任

渡邊 隆之 専務理事兼事務局長

退任

河村 邦彦 専務理事兼事務局長

■教員

採用

岩中 貴裕 国際文化学部教授
唐田 順子 看護栄養学部教授
横田 恵 看護栄養学部准教授
高田 千鶴 看護栄養学部講師

退職

田中 菜採 国際文化学部講師
前田 哲男 社会福祉学部教授
岩本 絢子 社会福祉学部助手
藤村 孝枝 看護栄養学部教授
中村 仁志 看護栄養学部教授
太田 友子 看護栄養学部講師

■事務職員

採用

福本 肇 総務部長(県から派遣)
廣島 愛 教育研究支援部教務部門主任
高木 栄徳 学生部入試部門主事
高夫 佳奈 学生部学生支援部門主事

退職

楠藤 幸雄 法人経営部長(県へ復帰)
五十部奈緒美 学生部学生支援部門主事

令和3年度
桜園会総会
(書面議決)

令和三年五月十六日(日)ホテルニュータナカで開催を予定しておりましたが、第七十七回桜園会総会は、前年度同様、書面議決という形での実施となりました。

これは、本年度も新型コロナウイルス感染症の流行に収束が見通せないことから、令和二年十一月十九日の臨時理事会にて、書面議決で執り行うことに決定したことによるものです。

そこで、五月七日付で理事、支部長、監事、総会当番幹事、並びに書面議決参加希望者、計百三十一名に「令和3年度桜園会総会開催(書面議決)のお知らせ」を配付し、四月二十四日の理事会で承認された議案について、書面表決書を提出していただきました。

その結果、すべての議案について書面表決書提出者の過半数をもって可決されましたので、その結果を五月二十六日に書面で報告いたしました。

本年度の総会も、新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態で、このような形での実施とな

りましたが、来年度は、二年ぶりに皆様と直接お目にかかったの総会を予定しております。皆様と、一緒できることを、楽しみにしております。

令和4年度
桜園会第78回総会のご案内

日時
令和4年5月15日(日)
10時～12時

場所
ホテルニュータナカ
山口市湯田温泉
二一六一二四

■ 当日の日程
▽総会 10時～

▽講演 10時50分～

△演題▽

『食を伝える、食で伝える』

△講師▽

山口県立大学看護栄養学部
栄養学科准教授
園田純子先生

△内容▽

先生がライフワークで
取り組んでおられる「地

域の伝承料理」や最近研究されている「災害時の食事」について



園田 純子 先生

■ 会費 無料

※懇親会は行いません。

当番幹事は、S 51・56・61・
H 3・8・13・18・23・28・
R 3年卒業、修了のクラス幹事さんです。

※出席ご希望の方は、5月6日(金)までに同窓会事務局までお知らせください。

事務局からの
お知らせ

桜園会は、山口県立大学創立八十周年記念事業に、特別会計(整備基金)より二〇〇万円を寄付いたしました。

事務局からのお願い

同窓会の運営は皆さんの会費で成り立っております。
会費の納入にご協力ください。

◆桜園会本部年会費納入(2千円)をお願いいたします。

*希望される方は終身会員になることができます。

終身会費は一括払いで2万円です。

(H30.5.13改定)

◆振込用紙に郵便番号、住所(番地、建物名、部屋番号)、氏名(ふりがな)、電話番号を正確にご記入下さい。

通信欄には会員番号(封筒の宛名シール右下)、卒業年・科・勤務先、送金明細をお書きください。

*住所・勤務先の変更、改姓も必ずお知らせ下さい。

◆ご連絡・ご質問の窓口

山口県立大学同窓会桜園会事務局

住 所 〒753-8502 山口市桜島 3-2-1

TEL&FAX 083 (925) 7485 (職員在室日は水・金曜日 10時～17時)

E-mail ouhokai@yamaguchi-pu.ac.jp

山口県立大学のホームページからもアクセスできます。
(<https://www.yamaguchi-pu.ac.jp>)

*桜園会では、個人情報保護法を遵守し、取り扱いについては慎重に対応してまいります。

令和2年度桜園会会計収支決算書

一般会計		R3.4.9 (単位:円)
科	目	令和2年度決算額
収	入	
繰	越	金 7,117,033
経	常	会 費 3,767,000
本	部	入 会 金 5,253,135
事	業	負 担 金 0
雑	収	入 計 20,057
合		16,157,225
支	出	
総	会	費 59,598
会	議	費 87,525
支	部	助 費 708,110
会	報	作 費 1,609,835
公	開	講 座 費 20,422
桜	園	会 費 311,380
入	会	記 念 品 費 495,800
広	報	活 動 費 0
旅		費 433,520
通	信	費 132,766
印	刷	費 38,240
事	務	局 運 営 費 1,980,421
退	職	給 与 引 当 金 0
情	報	管 理 費 99,000
備	品	費 0
消	耗	品 費 152,238
雑		費 88,980
特	別	会 計 に 繰 入 1,500,000
予	備	費 375,269
合		8,093,104
次	年	度 繰 越 金 8,064,121



大学時代、故上野さち子先生の授業で俳句が大好きになりました。卒業後、編集者として働くようになりましたが、イベント企画やMCなど仕事の幅は広がる一方。多忙な日々ですが、俳句だけは決して手放したくないと思ってきました。気付けば俳句歴三十年を超え、NHK文化センターほかで俳句を教える機会もいただくようになって十年余り。コロナ禍で、「やり

会員近況報告

「奈良一〇〇の道俳句ing」
始めました。

倉橋みどり



たいと思うことは行動に移す」という思いがますます強くなり、令和三年四月一日、思い切つて俳句結社「寧楽」を船出させました。オンラインも駆使しつつ、毎月十回以上の句会・講座を重ねつつ、特に力を入れているのが、「奈良一〇〇の道俳句ing（はいきんぐ）」というプロジェクトです。これは、名所旧跡に出かけて句作をする「吟行」を、俳句初心者にも楽しんでもらえるよう、ハイキングの要素を大切にしつつ、俳句づくりにも挑戦してもらうものです。約一〇年かけ、奈良県内で一〇〇ルートを探し、実際に歩きたいと考えています。秋の「山の辺の道」編では、途中の古墳や社寺などの案内だけでなく、季語の植物や虫、雲や風などにも触れ、約八キロを三時間かけて歩きながら句作。選句と添削も行いました。

奈良に点在する歴史的な道はもちろん、ふだんの道も、俳人モードで歩けば四季折々の発見があります。参加者からも「健康にもよく、俳句を詠むことで頭の体操になる」と好評です。なお、福田百合子先生に序文をお願いした第一句集も令和四年春には形になる予定です。

（平成2年国文学卒）

会員近況報告

仕事 絵本の
イラストレーション

いとうあや

平成十六年に生活科学部環境デザイン学科を卒業しました、いとうあやと申します。

この度、月刊たぐさんのふしぎ令和三年11月号「からだの中の時計」（福音館書店）のイラストレーションを担当させて頂きました。様々な生き物の事例を通して、体内時計について学ぶことができる絵本です。

大学を卒業後、私は印刷物やウェブサイトのデザインを仕事としながら社会人向けの絵の教室に通い、イラストレーションを学びました。青山にあるギャラリーが開催する装画のコンペティションに応募し、装丁家の名久井直子氏より賞を頂きました。事が今回の仕事に繋がりました。

大学時代に於いて、授業の課



【絵本の情報】

文：吉村 崇 絵：いとうあや
出版社：福音館書店
発売日：2021/10/1
内容：40ページ
定価：770円（税込）
福音館書店ウェブサイト：
<https://www.fukuinkan.co.jp/book/?id=6877>

「著書の紹介」



「たぐさんのふしぎ11月号」はバックナンバーにて購入ができるとの事です。最後に情報を記載させて頂きます。もしご興味のある方は福音館書店のウェブサイトをご覧頂ければ幸いです。
（平成16年環境デザイン卒）

大学との情報交換会

今年もまだ続いているコロナ禍の中、大学との二回目の情報交換会が十月十日に開催された。

大学からは、多くの桜園会会員の方から「さくらの森夢基金」に（創立八十周年記念事業分を含む）多額の寄附があったことの報告があった。その二連の事業として七月十六日には、県知事ご臨席のもと、桜園会館ロビーに設置された、陶板「昇陽」（大和保男作）の除幕式も行われた。

また、厚生棟の整備も進み、令和四年度から供用開始の運びである。それに伴い、十一月十六日に山口県立大学生活協同組合も創立した。桜園会からは、総会等の開催に、厚生棟を使用させていただきたいとの申し入れを行った。

最後に、今後の大学の方向性について、大学改革を学内委員で協議、検討中であり、改革方針を県議会へ提出の予定であるとの説明があった。

なお、前回検討した「校友会」への移行については、ワーキンググループを作り、協議していききたいとの提案があり、会を終了した。

（昭和38年食物卒 中村記）

第二十一回桜園会賞 受賞報告

功労賞

一つもない
無駄な経験

阿波 昌子

この度、令和三年度桜園会功労賞をいただき、大変恐縮に存じます。改めて同窓会の皆様をはじめ、多くの方々にお礼申し上げます。

卒業後、四十年間教職につき、退職時が、丁度地元の議会議員の選挙の年でした。女性が必要と進められ、それから六年間日置町議会議員、続いて八年間は長門市と合併したため長門市議会議員と

して、活動させていただきまし
た。市内の様子や状況を知るた
めに、暇をみつけてはくまなく
回り、問題点や要望があれば、
その都度、声を行政に届けまし
た。多くの人とふれ合い、多くの
ことを勉強させていただき、充
実した十四年間でした。

また一方で、個人でも楽しめ
地域の方々にも喜んでいただけ
るものと考え、ハンドベルを始
めることにし、仲間を募ったとこ
ろ二十五人の女性が集まりまし
た。ピアノやエレクトーンは弾
けなくても、決められた音だけ
を出せばよいので、希望の曲を
奏でることが出来ると思えたか
らです。

日置町の代表として、二〇〇一
年の山口きらら博に出演させて
いただいたのを皮切りに、市での
催しや施設の訪問などと呼んで
いただき、皆さんに喜んでいただ
きました。心を二つにして、美し
いメロディーの演奏を終えた時
の喜びはまた格別です。楽譜を
読むことで頭を使い、ベルを振る
ことで体を動かし、心身共に健
康になり老化予防に繋がります。

これまで元気に過ごせたのは
皆様のお陰です。本当に有難う
ございました。

(昭和33年被服卒)

奨励賞

“作品表現”
という生き方

アーティスト/
モッコウサツカ

徳真



この度、桜園会奨励賞という
名誉ある賞を頂きまして、大
変嬉しく思います。誠に感謝
しております。

大学院生時のフィンランドで
の展示会がきっかけで出会え
た作品表現という生き方が
アカマツを使った灯りを生み、
それがこのような素晴らしい
賞まで繋がりました。

山口県の県木であるアカマツ
の油分に魅力を感じ、素材の
可能性を探るべく研究を続け
た結果、灯りとしての表現を
見だし、これまで国内外での
展示やイベントの企画参加を
経験しました。第七回やまぐ
ち新進アーティスト大賞、やま

ぐちブランド 第七十七号登録、
ミラノ万博出展等、アカマツの
持つ魅力を広く多くの方に伝
えることができました。

近年は、コロナ禍の影響と自
身のものづくりのスタイルが重
なり、以前より展示会の回数
はかなり減りましたが、その分
の時間を作品表現へ費やし新
たな作品を生み出しています。
アカマツの“生”を灯りとして
表現することはこれまでどお
り軸にし、木の“いのち”との関
わりを見つめなおし、もののあ
われや無常観といった日本独
自の精神性を大切にしていま
す。

この賞に選んで頂けた喜び
と共に“生”を感じ、今後とも
より一層、作品表現に励んでま
いります。

(平成22年環境デザイン卒)

平成24年大学院修了)



令和四年度桜園会賞応募要綱

功労賞

卒業後の会員の活動をたたえ

- ① 地域社会の文化の振興
- ② 生活文化の創造や普及
- ③ 文化的環境づくり
- ④ 地域社会や文化を担う人材育成に寄与する活動をしている会員若しくは会員が主催するグループや団体に授与されます。

桜園会本部あるいは支部の推薦、または他の会員の推薦を受けて応募して下さい。

奨励賞

卒業後の会員(原則として五十歳未満)の活動を支え、上記①～④の活動が期待される会員若しくは会員が主催するグループや団体に授与されます。

桜園会本部あるいは支部の推薦、または他の会員の推薦を受けて応募して下さい。

学生賞

学生会員(在学生)の活動を支え、上記①～④の活動が期待される学生会員若しくは学生会員が主催するグループや団体に授与されます。大学教職員の推薦を受けて応募して下さい。

なお、受賞者は選考委員会の審査を経て、桜園会理事会で決定されます。

応募手続き・問い合わせ先

所定の様式に必要事項を記入のうえ、山口県立大学同窓会桜園会事務局に提出してください。

応募日程

- (1) 応募期間…令和四年六月二日から八月三十一日まで(当日消印有効)
- (2) 結果発表…令和四年十月(予定)

学生賞

食に触れる機会を 作るために

栄養学科食育系
課外活動
「お弁当の日プロジェクト」
代表 栗林 夏子

この度は、桜園会学生賞という、大変素晴らしい賞を受賞することができ、大変うれしく思います。

私たちお弁当の日プロジェクトは、若者の食意識の向上を目指し、大学生が台所に立つ機会が増えるよう、二〇〇八年の発足以来、活動を続けてきました。

主な活動として、テーマに沿った料理を一人一品ずつ持ち寄り、それを囲みながら食事をする『お弁当の日』を月に一度開催しています。さらに、ふぐを捌く体験会や食に関する二次産業施設の見学、和菓子やパンなどの料理教室の企画運営、食に関する研修への参加、地域の方に参加していただく食育ワークショップの開催など、食に触れるきっかけ作りの一環として様々な活動を行っています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年通りの活動が困難だったため、メンバーで意見を出し合い、二〇一九年度に宮野地区の食生活改善推進員

の方と協同で開催した料理教室のレシピを活用して、レシピ集とレシピ集のQRコードから視聴できるレシピ動画を作成し、山口市の食生活改善推進協議会や山口市の高校に配布しました。

今年度は、山口市全域の食生活改善推進員の方と協同で、若者の食生活における問題点の改善に取り組んだレシピ集とレシピ動画の作成を行いました。多くの方に活用していただきました。

最後になりましたが、名誉ある賞を受賞できたことに感謝するとともに、受賞を励みにより一層活動に精進してまいります。

(栄養学科3年)



学生賞

シヨクバカンス・ プロジェクトを通じて

大学生有志グループ
「シヨクバカンス・プロジェクト」
代表 大窪 睦季

この度は大変光栄な賞を頂き誠にありがとうございます。

私たち地域文化創造論研究室の四年生五名は、二〇二〇年の下松市との協働による「PB」活動を機に、「シヨクバカンス・プロジェクト」の立案を行いました。これは、下松市の強みである「ものづくり」と弱みである「観光」を掛け合わせ、

コロナ禍において様々な制約を受ける中で、単身赴任者とその家族が下松で楽しい時間を過ごせるような仕組みになっています。具体的には、単身赴任者が事前に地域の方々から下松の地域文化に関するレクチャーを受け、「誇り高き観光ガイド」になった段階で家族を呼び寄せ、下松を愉しんでもらおうという趣向です。残念ながら感染症への懸念から、計画は立てたものの企画の試行までには至りませんでした。状況が改善され次第進めたいと地域の方々と

話している他、これらの活動は後輩たちにも引き継がれ、さらに実効性のある企画を検討中です。

このプロジェクトでは、これまで当たり前でできていた地域訪問やヒアリング調査がなかなか実行できませんでした。そんなときでも、私たちは新しい方法を模索し続け、コロナ禍だからこそその企画を打ち出せたと考えています。この経験を今後も活かせるように、来年度からの社会生活に、来年度からの社会生活を過ごしたいです。

(文化創造学科4年)



一受賞後も積極的に活動されていますー



令和3年コープやまぐち「第15回女性いきいき大賞」
コープ山口奨励賞「学生の部」受賞
栄養学科食育プログラム開発チーム
平成22年受賞



第18回定期演奏会 (於) 桜園会館
山口県立大学吹奏楽団BLAZE
平成20年・平成26年受賞



地域での赤い羽根共同募金の啓発活動
MEP
令和2年受賞

恩師を偲んで
「謹んでお悔やみ申し上げます」

① 逝去年月
② 主な役職
③ 在職期間
(敬称略)



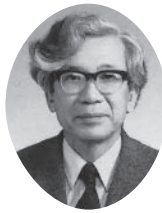
高山 治

① 令和3年1月
山口県立大学学長
山口県立大学学長
名誉教授(平成11年5月)
平成5年1月20日
平成11年1月19日



二五田公俊

① 令和3年1月
山口県立大学家政学部栄養学科教授
附属図書館長
名誉教授(平成8年3月)
昭和41年4月
平成8年3月



中山英男

① 令和2年11月
山口県立大学家政学部生活科学科教授
家政学部学部長
名誉教授(平成4年5月)
昭和34年4月
平成4年3月



猪又 徹

① 令和2年7月
山口県立大学生活科学部環境デザイン学科教授
生活科学部学部長
名誉教授(平成23年5月)
平成3年4月
平成19年3月



西村洋子

① 令和2年4月
山口県立大学看護学部看護学科教授
看護学部学部長
名誉教授(平成14年4月)
平成7年4月
平成14年3月



奥田義博

① 令和元年7月
山口県立大学家政学部栄養学科教授
家政学部学部長
学生部長
名誉教授(平成9年4月)
昭和51年4月
平成9年3月

桜園会支部リスト (令和3年11月24日現在)

支部名	支 部 長 名	支 部 長 連 絡 先	支部会員数(名)
関 東	椎 木 正子 (被服62)	276-0046 千葉県八千代市大和田新田911-11アルファグランデ緑が丘式番館231	740
東 海	東 淳子 (食管H4)	483-8065 愛知県江南市高屋町旭 74-2	135
近 畿	中 島 久実 (食物46)	664-0003 兵庫県伊丹市大野 3-45	691
広 島	金 重 知子 (被服58)	730-0835 広島県広島市中区江波南2-23-13Iパ -グリーン江波山605	720
四 国	村 松 幸子 (食物35)	770-8032 徳島県徳島市北山町岩崎 6-2	333
北九州	山本ア ンナ (被服59)	807-0805 福岡県北九州市八幡西区光貞台 2-9-15	435
福 岡	原 朋子 (国文50)	816-0943 福岡県大野城市白木原 5-1-13	446
佐 賀	松 林 郁子 (児文62)	849-1112 佐賀県杵島郡白石町福田 1894-31	135
大 分	栗 屋 文世 (国文44)	876-0843 大分県大分市中島西一丁目5-10富国パルロイアル中島西1502	303
岩 国	友 田 美美 (食物33)	740-0034 山口県岩国市南岩国町 2-38-27	238
柳 井	福 田 玲子 (国文55)	742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5439-4	219
下 松	小 田 玲子 (院H29/児文56)	743-0063 山口県光市島田 3-1-11	347
徳 山	藤 井 由美子 (院H28/国文45)	745-0027 山口県周南市祇町 1-3-1303	394
防 府	田 村 敬子 (国文H2)	747-0064 山口県防府市高井 531-1-10A	528
山 口	岡 村 郁子 (被服51)	753-0032 山口県山口市堂の前町4-27-3F1000	1,561
萩	藤 井 郁子 (院H21/国文47)	759-3112 山口県萩市大字下田万 1006-2	202
長 門	中 村 典子 (保育51)	759-4103 山口県長門市深川湯本420	155
宇 部	野 田 佑美 (看護H16)	755-0801 山口県宇部市上条3丁目3-3-6	793
小野田	鈴 木 寧子 (生デH7)	756-0067 山口県山陽小野田市柿の木坂3-24-7	224
下 関	田 村 三代 (国文57)	751-0883 山口県下関市田倉504	482

編集後記

あいもかわらずのコロナ禍ではありますが皆様お元気でしょうか。誌面でも触れている通り、昨年五月に山口県立大学は創立八十周年を迎えました。卒業生として、このような記念すべき時に会報編集に関わっていることを本当に嬉しく思います。只どうしても悔やまれるのはこの喜びを同窓生の皆様と対面で共有できないことです。(この状況下ですので、仕方がないのは甚だ承知ではありますが。)

前回、前々回と大学新校舎の完成運用を誌面ににてご紹介してきましたが、今年四月からはいよいよ「厚生棟」の運用が始まり、福利厚生(食堂売店など)は益々充実していきます。この状況が落ち着きましたら、是非とも活気づいた母校に遊びに来ていただくと幸いです。

(小橋記)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

◆教職員	奥田 義博 R1.7.23
旧教 (名誉教授)	西村 洋子 R2.4.8
旧教 (名誉教授)	猪又 徹 R2.7
旧教 (名誉教授)	中山 英男 R2.11.30
旧教 (名誉教授)	二五田 公俊 R3.1.14
旧教 (名誉教授)	高山 治 R3.1.30
元学長 (名誉教授)	宇多 光雄 R3.2.9
◆会員	
S20国文	登島 貴美子 H30.4.20
S55被服	福田 静子 H30.5.25
H11国際	福田 晃代 H30.8
S58被服	友景 美英子 R1
S30児童	片山 敏子 R1.10
S30食物	濱田 由美子 R1.11.23
S29国文	松岡 智子 R2.4.21
S23養護教員養成所	山中 重子 R2.6.3
S29児童	伊藤 寿子 R2.6.4
S30国文	伊藤 昌子 R2.8
S24国語	吉川ツタエ R2.8
S30国文	中村 廣子 R2.8.13
S23被服	田中八重子 R2.8.28
S55食物	飯田 敦子 R2.9.1
S31児童	信國 純子 R2.10.28
S28被服	有馬美津子 R2.11
S26児童	清原 裕子 R2.11
S25被服	伊丹美智子 R2.11.29
S34被服	中本 博子 R2.12.10
S26食物	吉田喜代子 R2.12.15
S29児童	島志津子 R2.12.19
S26児童	磯山 百代 R3.1.9
S22保健	寺西 麗子 R3.1.12
S20縫縫	今 穂野ミドリ R3.1.12
S27被服	金井 聡子 R3.1.31
S38被服	有吉ミキ子 R3.2.9
S24養護教員養成所	宮崎 鈴子 R3.2.10
S32被服	高松 吉子 R3.2.19
S31被服	波多野敦子 R3.3
S31児童	島村 渥子 R3.3.2
S27被服	盛山智代美 R3.3.31
S25別科	藤村 啓子 R3.4.3
S32被服	村田イッ子 R3.4.19
S33児童	三浦 邦子 R3.4.22
S31食物	村上 裕子 R3.5.4
S31児童	井上 裕子 R3.7.21
S23国語	桑原 孝子 R3.9.5
S23育児	松本美奈子 R3.9.26
S24生活	藤井 孝子 R3.10.29
S32被服	野村 宣子 R3.11.8
S36被服	橋本 富子 R3.11.10
S19家事	高橋 和子
S22育児	高橋 和子
S24育児	高橋 和子
S25国語	田中 玲子
S28国文	田中 玲子
S28食物	田中 玲子
S30食物	田中 玲子
S33保育	阿中 玲子
S34保育	阿中 玲子
S36食物	阿中 玲子
S38保育	阿中 玲子
S40国文	阿中 玲子
S47国文	阿中 玲子
H28大学院	阿中 玲子